

都市再生整備計画 事後評価シート  
長崎市東部地区

平成25年1月

長崎県長崎市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長崎県		市町村名	長崎市		地区名	長崎市東部地区			面積	965 ha	
	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	1,426.6 百万円	国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路:市道田中町中里町線、市道田中町14号線、地域生活基盤施設:地域防災施設(耐震補強)、高次都市施設(地域交流センター):東部地区公共施設								
			提案事業	地域創造支援事業:東部地区公共施設整備事業、ペンギン水族館日本一プロジェクト事業								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設:地域防災施設(耐震補強)		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	なし		-			関連事業として実施するため、目標、指標への影響はなく、数値目標は据え置く				
	新たに追加した事業	基幹事業	道路:市道かき道31号線、市道宿町田中町線 地域生活基盤施設:広場(東町侍石地区)		道路:良好な居住環境を形成するため追加 地域生活基盤施設:地域に不足する広場を整備し、良好な居住環境の形成を図るため追加			まちづくりの目標達成に向け、プラスの影響があるが、目標も指標も据え置く				
		提案事業	事業活用調査:事業効果分析調査		アンケートを含めた事後評価を実施するため追加			事後評価であるため、指標に影響なし				
交付期間の変更	当初	平成20年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
	変更	-		-			-					
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	防災性・安全性に対する満足度	%	13.9	H18	20.0	H24	-	8.3	×	あり ● なし	平成25年11月
	指標2	すみやすさに対する満足度	%	27.8	H18	32.0	H24	-	33.3	○	あり なし	-
	指標3	子育てしやすさに対する満足度	%	11.1	H18	20.0	H24	-	20.0	○	あり なし	-
	指標4	主要観光施設入場者数	人	216,291	H18	250,000	H24	253,330	223,308	△	あり なし ●	平成25年3月末
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1											
4) 定性的な効果発現状況	アンケートでは、「ここにこセンターの図書室が利用しやすく、地域に受け入れられているように思う。」「ここにこセンター内の『きずな(子育て支援センター)』や各幼稚園、保育園など子育て支援に積極的に取り組んでいるので、子育てしやすいと思う。」といった意見があり、整備した東部地区公共施設(ここにこセンター)が、地域の地域交流拠点、子育て拠点として機能していることが確認できた。											
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等					
	モニタリング	指標4「主要観光施設入場者数」に関するモニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●		今後も、同様に継続し、当該地区の観光・交流・広域連携による地域づくりの進捗を確認する。			
	住民参加プロセス	東部地区公共施設建設委員会の開催		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●		委員会の整備計画により、地元ニーズにあった施設が整備できたものと考えられることから、今後は、施設運営面で市民が利用しやすい環境を整えていく。			
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			-					

## 様式2-2 地区の概要

長崎市東部地区(長崎県長崎市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 長崎市の東部市街地圏域の拠点として、にぎわいと活力のある計画的な都市を創る 目標1: 地域コミュニティの形成 目標2: 良好な居住環境の形成による人口定着 目標3: 地域の防災性・安全性の向上 目標4: 観光、交流、広域連携による地域づくり		防災性・安全性に対する満足度	単位: %	13.9	H18	20.0	H24	8.3	H24
		すみやすさに対する満足度	単位: %	27.8	H18	32.0	H24	33.3	H24
		子育てしやすさに対する満足度	単位: %	11.1	H18	20.0	H24	20.0	H24
		主要観光施設入場者数	単位: 人	216,291	H18	250,000	H24	223,308	H24
<b>まちの課題の変化</b>		<p>◇交流拠点の整備: 東長崎支所や公民館(図書室、多目的ホールを含む)、子育て支援センター等を備えた東部地区公共施設が整備されたことで、地域住民の地域活動拠点が形成された。</p> <p>◇良好な居住環境の形成: 東長崎支所や公民館等の公共施設が集積した東部地区公共施設が整備され、地域住民の生活利便性が向上した。また、生活道路の整備や地域の憩いの場となる広場が整備されたことで生活環境が向上した。今後は、地区内の広範囲に及んでいた土地区画整理事業について、計画の見直しを行い事業の進捗を図るとともに、事業区域外においても、居住環境の改善対策に取り組む必要がある。</p> <p>◇都市防災対策: 災害時や緊急時に防災拠点となる東部地区公共施設の整備や公民館等の避難所の耐震化が進められ、地区の防災機能の強化が図られた。また、避難経路や避難地となる生活道路や広場が整備され、地区の防災性の向上が図られた。一方で、生活道路の整備等により、地区の防災性は向上したが、地区内には都市基盤施設が未整備な箇所があり、さらなる防災性・安全性向上を図る必要がある。</p> <p>◇地域の観光・産業資源等の有効活用: 東部地区の観光や学習の拠点であるペンギン水族館や、公民館(多目的ホールを含む)等を備え、地域交流の拠点である東部地区公共施設が整備されたことで、観光客の一定の増加や地域の活性化が図られたものの、地区の観光客数のさらなる増加を図るため、今後は事業効果の持続・向上のための施策展開を推進していく必要がある。</p>							
<b>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</b>		<p>【整備された都市基盤施設の維持・管理や利活用】 整備された道路や公園の維持・管理を図り、快適な居住環境の維持を図る。また、地域の活動拠点である東部地区公共施設の適正な管理を図りつつ、同施設でのイベントや講座等の生涯学習等を実施し、施設を活用した地区の賑わい創出を図る。</p> <p>【都市基盤整備による生活環境の向上】 土地区画整理事業を進捗するとともに、事業区域外においても円滑な交通を促進する生活道路等や憩いの空間となる公園等を整備し、快適な居住環境の形成を図る。</p> <p>【地区内のさらなる防災機能の向上】 災害時・緊急時の防災及び救急活動に必要となる生活道路等の整備や公園等のオープンスペースの確保により、防災性・安全性の向上を図る。</p> <p>【全市的な観光施策と連携した観光推進】 地区の観光促進のため、全市的な観光施策と連携した地区の魅力の情報発信等により、ペンギン水族館等の観光・交流施設の利用促進を推進する。</p>							